

# 社会科学学習指導案（2年4組）

令和3年10月8日（金曜日）10:20～11:10 2の3教室

## 1 単元 日本の諸地域 ～近畿地方～

### 2 単元の見目

- (1)-①近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解することができる。
- (1)-②産業を中核とした考察の仕方で取り上げた、特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解することができる。
- (2)近畿地方において、産業を中核に設定した事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
- (3)近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。

### 3 単元設定の理由

#### (1)教材観

##### ①単元の見値

本単元は、近畿地方がどのように産業の振興と環境保全を両立しているのかについて学習を進めていく。農林水産業や工業、観光業の地域の広がりや近畿地方内や海外との結び付き、人々の対応に着目して、文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色ある事象と関連付けながら課題を追究する。この活動を通して、持続可能な地域づくりについて「産業」「生活」「文化」の視点や「自治体」「企業」「地域に暮らす人」の立場から考え、地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察し、表現する力を高めていくものである。「まとめる」過程で行う未来提案タイムにおいて、近畿地方が抱える課題に対して既習の単元や本単元での学びを基に、身近な地域の産業の振興と環境保全の両立に向けた取組や、近畿地方の地域的特色を関連付けて考える活動を通して、持続可能な地域づくりについて構想する力を高めることができる。

##### ②単元の見統性

- ・前単元の「中国・四国地方」では、地域の人口の分布や動態、都市・村落の立地や機能に関する事象を中核として、そこに暮らす人々の生活、文化や産業などに関する事象と関連付けながら課題を追究した。この活動を通して、人口の偏在から生ずる課題と持続可能な地域づくりについて「産業」「生活」「文化」の視点や「自治体」「企業」「過密地域に暮らす人々」「過疎地域に暮らす人々」の立場から考察し、地域的特色や地域の課題を理解する力と、未来提案タイムを通して、持続可能な社会づくりについて構想する力を身に付けてきた。
- ・次単元の「中部地方」では、農業や工業などの産業の立地に関する事象を中核として、そのでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連付けながら課題を追究する。この活動を通して、自然環境と交通網を生かした持続可能な地域づくりについて「産業」「生活」「文化」の視点や「自治体」「企業」「地域に暮らす人」の立場から考え、地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察し、表現する力を更に高めていく。

#### (2) 生徒観（男子18名、女子16名 計34名）

- ・知識・技能については、近畿地方が長く政治の中心地であったことなど、歴史的分野に関する知識は定着している生徒が多い。しかし、地形や気候など自然環境に関する知識や、他地域や海外との結び付きまでは明確に捉え切れていない。これは、空間的相互依存作用に着目して考察し、理解していないことが原因である。
- ・思考・判断・表現については、近畿地方の特色や課題を、「歴史」「産業」などの視点を関連付けて考察しようとする生徒は多いが、様々な立場から考察し関連付ける生徒は少ない。これは、社会的事象を立場に着目して考察する経験の不足が原因である。
- ・主体的に学習に取り組む態度は、地域がもつ地域的特色や抱える課題に対して、意欲的に未来提案を考えようとする生徒が多い。これは、協働して考え議論して構想を練り、粘り強く取り組み続ける生徒が多いからである。

#### (3) 指導観

- ・授業の導入時や課題追究の際に、振り返りシートを活用することで、単元や1単位時間のつ

ながりを意識して、地域ごとの地理的な事象を他の事象と関連付けて、単元の課題を追究できるようにする。

- ・人や資源や財の流動、仕事や観光を目的とした人々の流動、交通などの空間的相互依存作用に着目して考察させることで、それぞれの地域は、過不足分を補い提供しあって維持、発展していることを捉えることができるようにする。
- ・環境保全と産業の振興の両立について、「自治体」「企業」「地域に暮らす人」の立場から考えさせることで、提案したい相手を明確にさせ、考察を深めることができるようにする。
- ・未来提案タイムにおいて、内容を自治体、企業の方などが評価することで、意識させたい視点に沿った見直しを行わせ、社会的事象を様々な視点や立場から考察できるようにする。

#### 4 指導と評価の計画 社会科 2年 単元「日本の諸地域 ～近畿地方～」(全7時間計画)

目標	(1)-①近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解することができる。							
	(1)-②産業を中核とした考察の仕方を取り上げた、特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解することができる。							
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	①近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。		・近畿地方において、産業の振興と環境保全の両立などの持続可能な社会づくりがどのように進められているのかを、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。		・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			
過程	時間	◎目標・課題		○学習活動		重点	記録	備考
		◎資料から、近畿地方を特色付ける事象を見いだして、意欲的に追究しようとしている。		○資料を見て、近畿地方の自然環境を概観し、産業の分布から農林水産業や工業、サービス業や観光業の発達状況を捉える。		態		態：行動観察 記述分析 ・資料から、近畿地方の特色に興味をもち、単元の課題を設定して、主体的に学習に取り組もうとしている。
近畿地方には、どのような特色があるのか。		○近畿地方の観光客の増減や国別・地域別観光者数の推移から、産業に関連する地理に関わる事象を見いだす。						
つかむ		1		○近畿地方を特色付ける地理に関わる事象や、学習を進める中で生じた疑問や興味を基に、単元の課題を設定する。				
<p>単元の課題：近畿地方では、どのようにして産業を発展させながら環境を守ったり、歴史的な景観を守ったりしているのだろうか。</p>								

追 究	2	<p>◎近畿地方で行われている産業の振興と環境保全の両立に向けた取組を、産業を中核とした考察の仕方を基に、まとめることができる。</p> <p>近畿地方では、どのようにして産業の振興と環境保全を両立しているのか。</p>	<p>○近畿地方の地域的特色や京都、大阪、神戸、琵琶湖周辺における、産業振興と環境保全の両立に向けた取組について調べる。</p> <p>○それぞれの府県や地域における産業の振興と環境保全の両立に向けた取組と、地域的特色を関連付けてまとめる。</p>	知	○	<p>知①②③：行動観察 記述分析</p> <p>・近畿地方の地域的特色と課題を理解し、産業を中核とした考察の仕方を基に、収集した資料から、調べたことを文章とともにグラフ化、図表化をすることができる。</p>
	1	<p>◎近畿地方の地域的特色を関連付けた産業の振興と環境保全の両立に向けた取組について、多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>近畿地方の産業の振興と環境保全の両立には、何が影響を与えているのか。</p>	<p>○個人でまとめた内容をグループ内でプレゼンテーションを行い共有する。</p> <p>○持続可能な社会の実現のために、地域の持続可能性が高まると考えられる産業の振興と環境保全の両立に向けた取組をグループでまとめる。</p>	思	○	<p>思：行動観察 記述分析</p> <p>・産業の振興と環境保全を両立するために取り組まれた工夫を、歴史的背景や人々の対応、それぞれの立場から捉えてまとめることができる。</p>
ま と め	1	<p>◎近畿地方の地域的特色を関連付けた産業の振興と環境保全の両立に向けた取組について、立場を明確にして話し合うことができる。</p> <p>近畿地方では、どのようにして産業を発展させながら環境を守ったり、歴史的な景観を守ったりしているのだろうか。</p>	<p>○グループで考えた提案内容を、未来提案で意識したい視点に沿って見直しをする。</p> <p>○近畿地方の地域的特色を活用したり課題を克服したりする方法について、「自治体」「企業」「地域に暮らす人」の立場から話し合う。</p>	思	○	<p>思：行動観察 記述分析</p> <p>・産業の振興と環境保全の両立と未来提案で意識したい視点で説明を聞き、修正点や代案を出しながら話し合うことができる。</p>
	2 (本時はその1)	<p>◎近畿地方の地域的特色や産業の振興と環境保全の両立に向けた取組を基に、残された課題を解決する提案を「産業」「生活」「文化」の視点や「自治体」「企業」「地域に暮らす人々」の立場から構想することができる。</p> <p>近畿地方は、どうすれば産業の振興と環境保全を両立して、更によりよい地域づくりを進めていけるだろうか。</p>	<p>○これまでの課題解決策を基にしながら、近畿地方の産業の振興と環境保全を両立させる未来提案を考える。</p> <p>○グループで考えた提案内容を、未来提案で意識したい視点(「持続可能性」「実現可能性」)に沿って精選する。</p> <p>○構想した内容を説明し、提案内容を多面的・多角的に話し合う。</p> <p>○評価者から、提案した内容に対する講評をもらい、本時のまとめをする。</p>	思 態	○	<p>思：行動観察 記述分析</p> <p>・近畿地方が依然として抱える課題について、地域的特色や既習の單元などでの学びを関連付けて、多面的・多角的に持続可能な地域づくりの構想をすることができる。</p> <p>態：行動観察 記述分析</p> <p>・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。</p>

## 5 本時の展開（6／7）

### (1) 目標

近畿地方の地域的特色や産業の振興と環境保全の両立に向けた取組を基に、残された課題を解決する提案を「産業」「生活」「文化」の視点や「自治体」「企業」「地域に暮らす人々」の立場から構想することができる。

### (2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p><b>1. 本時の課題をつかむ。</b></p> <p>○前時の学習内容を振り返り、本時の課題を確認する。</p> <p>・近畿地方にはまだ課題が残っている。その課題を解決して、よりよい近畿地方の地域づくりを考えてみたい。</p>	<p>○前時の発表内容を称賛し、振り返りシートへの記述内容を発言した生徒に対して、課題が残る近畿地方によりよい地域づくりの提案ができないかと問いかけることで、追究する意欲を高められるようにする。</p> <p>○自治体の方に提案内容を評価してもらうことを伝えることで、解決策を考える活動を通して社会参画をしようとする意欲を高めて活動に取り組めるようにする。</p>
<p>課題：近畿地方は、どうすれば産業の振興と環境保全を両立して、更によりよい地域づくりを進めていけるだろうか。</p>	
<p><b>2. 近畿地方の産業の振興と環境保全を両立させる未来提案を考える。</b></p> <p>○近畿地方のこれまでの取組を基にしながら、産業の振興と環境保全を両立させる提案をグループで考える。</p> <p>・京都は、歴史的な景観を保全することで観光客を集めている。みなかみのように、豊かな自然を活用して、開発をせずに産業を振興していく方法はないかな。</p> <p><b>3. グループで考えた提案内容を精選する。</b></p> <p>○「持続可能性」「実現可能性」を視点に、提案内容を精選する。</p> <p>・私の提案は、産業の振興の考えが強く、環境保全の面が弱かったことが分かった。もう少し持続可能性を高めるための方法を考えてみよう。</p> <p>・提案に、暮らす人たちの思いが反映されていなかった。この取組をしたらどう思うのか直接聞いてみたい。</p> <p><b>4. 本時のまとめをする。</b></p> <p>○近畿地方の地域づくりに対する考えを、振り返りシートに記入する。</p>	<p>○身近な地域の農林水産業、工業、観光業に関する資料を提示することで、その取組に着目させ、近畿地方の地域的特色と関連付けながら考えられるようにする。</p> <p>○「自治体」「企業」「地域に暮らす人」は、何を望みどのような地域づくりを進めたいと考えているのかと問いかけることで、提案内容に当事者意識を反映させることができるようにする。</p> <p>○「どこに対して」「何に対して」「どのような立場の人たちに対して」の提案であるのかを明確かつ具体的に考えさせることで、必要感をもち解決につながるような提案ができるようにする。</p> <p>○タブレット端末で情報を共有させることで、比較や関連付けに要する時間を確保できるようにする。</p> <p>○近畿地方が産業を振興する理由や環境保全をする理由に着目させることで、「自治体」「企業」「地域に暮らす人」は何を目的に地域づくりを進めようとしているのか、考えを広げることができるようにする。</p> <p>○マトリックス図を活用させ視点を可視化し話し合いを行わせることで、より持続可能性と実現可能性が高い提案内容にできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>近畿地方が依然として抱える課題について、地域的特色や既習の単元などでの学びを関連付けて、多面的・多角的に持続可能な地域づくりの構想をすることができる。（行動観察、記述分析）</p> </div> <p>○以前に学習した地域の振り返りシートを読み返させることで、これまでの単元で意識させてきた、立場に着目した修正ができるようにする。</p>
<p>&lt;まとめ・振り返り&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ財政面に負担をかけず、今ある資源の活用方法を見つけ、新たな開発を最小限にすることで、地域的特色を生かしたよりよい地域づくりを進めていける。</li> <li>・持続可能性や実現可能性という視点で自分の考えを見直すと、お金の大切さに気付いた。特に自治体は、収入が税金だから、その大切さも分かった。開発よりも、資源を再利用や再生させて産業を発展させる方法を見つけない。また、そこに暮らす人はどう思うのかを詳しく知りたいし考えたい。</li> </ul>	
<p>&lt;「学びの質」を高めるための具体的な手立て&gt;</p> <p>身に付けた知識を使って、未来への提案を構想する発展的な学習の場「未来提案タイム」の設定</p>	